

Title	わたしの趣味はYouTube (2023)
Sub Title	
Author	村松, 眞由(Muramatsu, Mayu)
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2023
Jtitle	新版 窮理図解 No.39 (2023. 11)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	慶應理工の計算固体力学と情報技術：これからのコンピュータ支援エンジニアリング (CAE : computer aided engineering) とは? 機械工学科 村松眞由 (准教授)
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000039-0008

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

わたしの趣味は YouTube (2023)

村松真由

以前は読書が趣味の私だったが、2023年9月現在、よろしくないことにYouTubeが私の趣味の時間をかなり侵食している。

よく見るのは、ウクライナ戦争とヒップホップである。前者は開戦当時(2014年のクリミア併合ではなく2022年2月のロシアの侵攻)からほぼ毎日ウォッチしており、かなり最先端の情報をおさえているが、文章に残すと問題がありそうなので、ここでは後者について書いてみようと思う。

2年くらい前に、学生から「舐達磨」とい

うヒップホップクルーのBUDS MONTAGEという曲を紹介してもらってから、毎日YouTubeでヒップホップを聴いている。唾奇、Awich、Monyhorse、LANAなど色々聴く。ついでにMCラップバトルやラップスタア誕生も見る。

ヒップホップに限らずもともと音楽は何でも好きで、人から勧められるがままに聴くが、しばらく音楽を聴くことから離れていたのが新鮮を感じる。音楽は、やっぱり楽しい。

YouTubeで動画(特にMV:ミュージックビデオ)を見てると、供給する側が制作物にかかるコストと、それらを消費する側が費やすコストとがいかに非対称かに驚く。供給側では楽曲およびビデオ制作に膨大な時間と費用が費やされているであろう。それに対して、消費者である私は通信料をわずかに払い、無料のYouTube

でたった3~4分ほど視聴するのみである。有り難がってしっかり視聴しなければいけないと思うが、質の高い動画を気楽に視聴できるところがYouTubeの良さでもある。

先日やっと、阿川尚之先生の『憲法で読むアメリカ史』という本を読み終えた。最近YouTubeばかり見ている私には、久々の一冊読了である。読書はYouTubeに比べると、消費者側のコストを費やす娯楽であると感じる。したがって、読み終えたときには、こちらにも一定の達成感がある。本書の冒頭はなかなか読み進めることができなかつたが、読み終える頃には主張がよく理解できるようになった。

ところが、私の頭の中のアメリカ史には、南北戦争あたりにYouTubeで見たドントテルミー荒井による解説の記憶も混在しているように思われる。結局、YouTubeからは抜け出せないのである。

理工学 Information

KEIO TECHNO-MALL 2023 (第24回慶應科学技術展)

「新たなコラボレーションを創出する「人間交際」の場—大変革時代におけるチャンスとチャレンジ—」

KEIO TECHNO-MALL (慶應科学技術展)は、慶應義塾大学理工学部・理工学研究科の研究成果を広く発信し、共同研究や技術移転など、産官学連携のきっかけとなる出会いの場を提供するイベントです。

慶應義塾が誇る最先端の技術や独創的なアイデアにふれて、さまざまな可能性を探ってみてはいかがでしょうか。

日時: 2023年12月15日(金) 10:00~18:00

場所: 東京国際フォーラム地下2階(ホールE2)

参加受付・詳細: ホームページ (<https://www.kll.keio.ac.jp/ktm/>)

よりご確認ください。

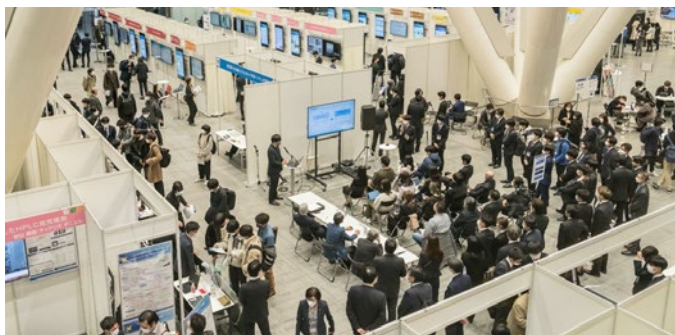
〈シンポジウムセッション〉

- ・慶應義塾の研究と挑戦
- ・ジェントロジーと科学技術の関係を考える
- ・革新的薬物送達システムの開発に向けた医工業および産学連携
- ・AIフロンティア: 基盤モデルが切り拓く未来

〈特別講演〉

- ・新たな価値の創造とグローバルサステナブル社会の実現 -IOWN-

※テーマは変更となる可能性がございます。



<https://www.kll.keio.ac.jp/ktm/>



新版 窮理図解

No.39 2023 November

編集 新版窮理図解編集委員会
 写真 邑口京一郎
 デザイン 八十島博明、石川幸彦 (GRID)
 編集協力 サイテック・コミュニケーションズ
 発行者 村上俊之
 発行 慶應義塾大学理工学部
 〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1
 問い合わせ先 (新版窮理図解全般)
kyurizukai@info.keio.ac.jp
 問い合わせ先 (産学連携)
kll-liaison@adst.keio.ac.jp

web版

<https://www.st.keio.ac.jp/education/kyurizukai/>

編集後記

この『新版 窮理図解』39号では、「計算固体力学」を研究されている村松真由准教授を特集しました。お気に入りのサッカーチームの名前をサーバー名に採用されるなど、親しみやすい一面を取材の際に覗かせていただきました。

研究の説明を伺うまでは、「新素材の強度予測」というと物理シミュレーションを想像していました。より効率的で計算コストがかからない機械学習による代替計算をされているという先生の研究は、目からウロコでした。多岐にわたる応用分野の一部も、この号で紹介していますので、ご一読ください。(中山 翠)

今号の表紙: 構造物を有限個の要素に区切って数値解析する有限要素法のイメージとともに。